

PR32657

☆共JBN 外1285 (産業、ゲーム) (08・11・17)

【産業担当デスク殿】32657

◎小学校に知的成長でチェス導入を

ドイツ・チェス財団

【ドレスデン、サンクトゴア (ドイツ) 17日PRN=共同JBN】ドイツ・チェス財団は小学校のカリキュラムに組み込まれた体系的なチェス指導は児童の知的成長をサポートすると提案している。チェスは子供をもっと賢くする。

チェスの指導を受けた児童は以下のようなことを学ぶことになる。

- \* 注意力を持ち、高い集中力を維持する。
- \* 頭の中で位置とコマの動きをビジュアル化する。
- \* 記憶力の訓練。
- \* 先を読み、先の行動を計画する。
- \* 状況が変化するたびに判断し直す。
- \* 忍耐力、思考力、創造性を養う。
- \* 選択肢を考える。
- \* 自らの行動の結果を評価する。
- \* スタミナ、決断力、社会的技能をつける。(注)

こうして獲得した力はまた学校の他の教科でも成績平均点を改善する。

小学校では以下のことを推奨する。

- 1、小学1年生の段階でカリキュラムに週45分間の体系的チェス指導を組み込む。
- 2、2年生以上から算数の1クラスをチェス・クラスに転換して週90分とする。
- 3、体系的チェス指導はできるだけ早く、すなわち1年生から始めて2年から4年間継続する必要がある。

チェスとの楽しい出会いは幼稚園から始められる。

#### 4、その後のチェス指導の段階的発展

入門クラスの訓練期間が必要になるかもしれないが、チェスを学校に導入する最初の段階ではすでにいる教師によって管理することが可能である。個人的な適性が極めて重要なので、インストラクターは単に教科主体の資格を根拠に選んではならない。教師の個性でチェス指導の利点は得られもするし失われもする。

(注) 詳細はチェスチャンピオンのジェリー・メイヤーズ氏による「教育におけるチェスの利点(The Benefits of Chess in Education)」の9ページを参照

<http://www.chess.ca/misc2008/benefitsofchess.pdf>

連絡先

Deutsche Schachstiftung (ドイツ・チェス財団)

ref.: Matthias Draeger

Auf dem Haehnchen 34, 56329 St. Goar

Tel. +49-6741-1720 E-mail: [post@schachstiftung.de](mailto:post@schachstiftung.de)

<http://www.schachstiftung.de/schach-appell>

(了)